

士心之塾

ていじんおひらき

庭訓往来

2006. 7.25

吉

第一回目は、Bewell 治政館の紹介からです。

一階は平日、サーキットトレーニングとして使用しています。上は八十歳代から下は二十歳代まで、各世代の人たちが健康維持、健康増進のために来ています。ヨガ教室も開設されました。30分という短い時間で、気軽に運動できるので、会員の人たちも増えてきています。

二階は夕方5時から10時まで(6時からは一階も使用)キックボクシングジムとして使用しています。

日曜日は午前中だけ、士心之塾が武道教室として使用しています。ここでスタッフを紹介しておきます。

松本 志穂先生 高校1年生です。

佐藤 彩先生 短期大学の1年生です。

子どもたちのお手本になるようにがんばらせます。本人たちにも教えながら人間力の勉強をさせようと思っっています。まだ未熟ですので、温かい目で見守って下さい。お願いします。

佐藤 典子先生 士心之塾の総務関係を手伝ってもらっています。わからないことはお気軽にご相談下さい。

松本 志朗コーチは、中学一年です。部活が休みの時に手伝いにきます。今のところ、「臨時雇い」です。士心之塾ジュニアキックボクシングを代表して試合に出て闘っています。

もう一人、受験のために休職中の方が一人います。

東原先生は士心之塾のスポーツドクターです。先生の奥さんは看護学校の先生をしていて、ヨガ教室の先生です。健康面や運動面で、多くのアドバイスを受けています。

キックボクシングジムのトレーナーで宮本武蔵先生(リングネームです。「だけぞう」と読みます)がいます。プロのキックボクサーです。士心之塾のジュニアキックボクシング教室を担当します。

八月よりタイ人のガンスワン先生が勤務します。タイキックボクシングで一番権威のあるラジャナムナンのチャンピオンでした。日本語はあまり話せませんが、よろしく願います。

サーキットのスタッフには、佐伯さん、大河内さん、佐藤香さんがいます。士心之塾庭訓往来の編集は松本志穂先生のお母さんが担当しています。

これから月に一度、士心之塾の会報を、ご父兄に配布することになりました。それで名称を何と名づけようかと悩みました。私は、日本の文化、歴史を子どもたちに教えていきたいと考えていますので、士心之塾ニユース、士心之塾通信、何かしっくりきませんでした。そこで庭訓往来という名前にしました。庭訓往来は江戸時代、寺子屋の教科書として使用されていたものです。

「庭訓」といっのは中国の論語からきています。家庭教育の大切さを意味しています。「往来」といっのは手紙の意味です。寺子屋では名文をお手本として習字の練習をしていました。同時に名文を覚えさせて、子どもたちに社会人になるための正しい生き方も学ばせたのです。

連絡事項、指導方法、ご注意ください。と、また、本物の庭訓往来を見習い、一月一話、私がお供たちに覚えてもらいたい文を掲載します。是非、「一読ください」。

